

新設小学校等に関する地域・保護者説明会の結果について

■ 開催結果概要

- 1 日時 平成29年5月12日（金）18時～19時
- 2 場所 清原中央小学校体育館
- 3 出席者 清原中央小学校区内の地域住民及び保護者：約90名
（地域住民：約45名，保護者：約45名）
- 4 内容 ①テクノポリスセンター地区新設小学校について
②新設小学校開校までの清原中央小学校の対応について
③清原中学校の生徒数推計について
- 5 結果
 - ・ 新設小学校の設計状況，今後の進め方等については，概ね理解を得られた。
 - ・ 新設小学校開校までの清原中央小学校の対応については，概ね理解を得られた。
 - ・ 今後は，学校施設や学校運営関係などの事業の進捗状況に応じて地域や保護者の代表から組織される開校準備委員会を開催し，意見聴取するものとする。

■ 説明会での主な意見

● テクノポリスセンター地区新設小学校等について

- ・ **現在子どもが小学校2年生で，平成33年に6年生となるが新設小学校に通うことになるのか，それとも清原中央小学校に通うことになるのか。**
⇒ 建設の段階で新設小学校の学区に住んでいる清原中央小学校の在籍児童については，どちらかの学校を選択できるようにしたい。前年度に通学の意向確認を行い，どちらの学校にも通えるよう経過措置を設けたいと考えている。また，兄弟が清原中央小学校に経過措置として通っている場合も同じく経過措置で対応したいと考えている。
- ・ **新設小学校における子どもの家の利用児童数はどのくらいになると検討しているのか。**
⇒ 新設小学校については平成33年度の開校当初は平成28年度の実績に基づき150人程度，平成40年頃には280から300人程度と見込んでいる。毎年推計をし，見直しをしている。今後子どもの家の利用調査を行い，工事着手までに人数把握を行っていきたい。
- ・ **未就学児，小さな赤ちゃんたちが集まれるような施設を作ってほしい。**
⇒ 清原中央小学校は宮っこステーション事業があり，午前中の10時から12時の間未就学児が保護者同伴のもと遊んだり，保護者が指導員に相談したりできる仕組みがある。新設小学校においても，放課後の活動だけでなく宮っこステーション事業を運営するかどうかは保護者や運営委員，地域等と相談しながら決めて行きたい。

● **新設小学校開校までの清原中央小学校等について**

- ・ **野高谷町交差点は登下校時に危険である。児童の通学路の安全確保について聞きたい。**
⇒ 野高谷町交差点については、今年3月に地域、学校、市、道路部局等と調整し、一部児童の通学路を変更し、交差点を渡る児童数を少なくしたところである。基本的に新設小学校ができるまでは、地域の方々等のご意見も踏まえながら、児童の安全について配慮していきたいと考えているのでご理解いただきたい。

- ・ **清原中央小学校の増築では軽量鉄骨造との説明だったが、軽量鉄骨とはどういう建物か。きちんとした建物なのか、プレハブなのか。また夏クーラなどの空調をつけてもらえるのか。**
⇒ 軽量鉄骨造は、他の学校でも建てているもので、プレハブに近いものである。清原中央小学校の皆様には大震災の時にご迷惑をかけたが、その時に建てた仮設校舎に近いものである。開校までに限られた期間であるため、撤去することも考えた校舎になるということをご理解いただきたい。
また、暑さ対策として、空調も整備する。2階建ての仮設校舎となるので給食用のリフトも設置し、可能な限り子どもたちの負担とならないように整備していきたい。

- ・ **現在は、子どもの家は3教室、体育館の2階を使っているが、1つの案としてプレハブ校舎の1階を全部子どもの家にして1か所にして運営することはできないのか。**
⇒ 運営委員会、学校の校長先生、生涯学習課の3者で協議をしているところである。3教室と体育館の利用でご不便をおかけしている。仮設校舎の子どもの家の利用も含め安全に運営できるように検討していきたい。

● **清原中学校等について**

- ・ **清原中学校の増築工事については、どれくらいの期間がかかるのか。また増築開始の時期はいつになるのか。**
⇒ 清原中学校の増築校舎の工事期間については1年程度でできると考えている。また、仮設校舎とは違い10年以上耐え得るきちんとしたものを増築したいと考えている
増築開始の時期については、長期的に生徒数を見通す必要があるため、子どもたちの学校生活に影響がない時期に、適切な規模で増築したい。生徒の推計をみながら検討をし、今後、開校準備委員会でお示ししていきたいと考えている。